



～町長マニフェスト進展状況～

完全復興へ

わくわくする まちづくり

熊本地震から8年を迎えました。これまで町民の皆さまとともに、復旧・復興事業をはじめとするさまざまな施策に取り組んできました。今後も、完全復興に向けた施策をさらに加速し、新たにぎわいづくりにつながる“わくわくするまちづくり”に一層力を入れてまいります。

復旧・復興

復興まちづくりセンターにじいろ、震災記念公園、役場新庁舎などの復興の象徴となる施設が完成し、公共施設の再建は令和7年4月にオープン予定の地域共生センターで完了します。

また、創造的復興のシンボル事業である、惣領まで開通した①県道熊本高森線4車線化事業や②益城中央被災市街地復興土地区画整理事業においても、着実な進捗を遂げています。

①県道熊本高森線4車線化事業

用地買収の契約率
(令和6年4月時点)

99.3%

②益城中央被災市街地復興土地区画整理事業

仮換地指定の割合
(令和6年4月時点)

92.1%



◀ 広崎～惣領区
間が供用開始
した県道熊本
高森線

町公民館、男女共同参画センター、地域ふれあい交流館の3つの機能を有する地域共生センター▶



防災・減災

自主防災組織の設立支援を実施。設立団体数は14団体と着実に増加しており、令和6年3月時点での組織による世帯カバー率は60%を超えました。自主防災組織は、平常時に防災訓練や広報活動を、災害時には初動対応、救出救護、避難誘導、避難所への給食・給水などの活動を行い、「自助」、「共助」の中核を担っています。

安永4町内自主防災クラブ
「親子で防災キャンプ」
(令和6年2月)



▲安永雨水ポンプ場

豪雨による浸水被害を軽減するため、安永・福富・妙見の3地区にポンプ場を設置しました。安永と福富の2地区では、令和5年からその運用が始まっています。

国天然記念物「布田川断層帯(谷川地区)」の保存整備が完了し、4月14日に落成式を開催。谷川展望広場ではインストゥルメンタル音楽を奏でるグループ「Viento」によるコンサートが開かれました。

今後、布田川断層帯・谷川展望広場は防災教育やイベント会場、地域の憩いの場として活用されます。



◀ 布田川断層帯
(谷川地区)落成式

展望広場で行われた
Vientoのコンサート ▶

